

What is gender? ジェンダーって何?

なぜ、ジェンダー平等について考える必要があるのか。最新のデータと解説、チェックシートを用いて、10代の小・中学生に、興味関心を持ってもらい、自分事化してもらえらるような内容に。

What is gender? ジェンダーって何?

「無意識の思い込み」を知ろう
アンコンシャス・バイアス (Unconscious Bias)

ジェンダー平等について考える必要は、誰もが知っています。しかし、無意識の思い込みが、性別に関係なく、私たちに与えている影響は、想像以上に大きいです。この冊子では、アンコンシャス・バイアスについて、簡単に学べるようになっています。

ジェンダー格差の現在地

男性の賃金は、女性の賃金よりも高い傾向があります。これは、性別に関係なく、私たちに与えている影響は、想像以上に大きいです。この冊子では、アンコンシャス・バイアスについて、簡単に学べるようになっています。

454対83

ジェンダー平等は、世界において「このままではいけない」という意識が広がり、アンコンシャス・バイアスによって生じる格差を減らすための取り組みが進んでいます。この冊子では、アンコンシャス・バイアスについて、簡単に学べるようになっています。

教育現場での活用事例

昨年、「10代のためのジェンダーの授業」冊子を、「おしごと年鑑2022」に同梱し、全国の小・中学校約3万校に寄贈したところ、多くの学校から「もっと活用したいから追加で送ってほしい。」という声がよせられ、要望のあった学校に追加寄贈しました。今回の第二弾冊子には、追加希望先の一つ、松戸市立和名ヶ谷中学校の授業レポートも掲載。「すべての生徒、先生と理解を深めたい」と、性の多様性についても話を広げながら、全クラスに授業を展開していただきました。

授業レポート
ジェンダー平等への深まる理解
授業実施校: 千葉県松戸市立和名ヶ谷中学校

2022年秋に、全校で「10代のためのジェンダーの授業」(第1弾、2022年発行、右参照)を使った授業をしました。オンライン会議システムを使ってクラスを結び、ジェンダーの詳しい意味やジェンダー平等の大切さを最初に学んだ後、各クラスで職業の男女比クイズを通して、男女格差を知り、ジェンダー平等について考えました。話は、LGBTQ*のことまで広がりました。
*性的少数者のこと

生徒の皆さんからの声

今日の授業で、「私には関係ない」という考えがなくなった。

今思うと身近なところにジェンダー・バイアスがあった。

職業によって男女比に違いがあり、その差も大きいことに驚いた。

授業レポート(左のコラム)の詳細記事はこちら

『10代のためのジェンダーの授業』第1弾(8P)のPDFはこちら

監修: ジェンダー専門家 斎藤万里子様

「10代のためのジェンダーの授業」冊子は、特定非営利活動法人Gender Action Platform理事で、元国連職員、現在はフリーの専門家として国際機関やNPOなどで活躍されている斎藤万里子さんに、「誰もが能力と個性を發揮できる社会をつくるために」という想いのもと、監修いただきました。

